

2015年度 第2四半期 決算説明資料



株式会社 太陽工機

CNC立形複合研削盤
CVG-6

将来予測について

当資料には、当社の目標、計画などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断及び仮定に基づいております。今後の経営方針転換、外部要因の変化により、将来的に実際の業績と大きく異なる可能性があります。

なお、不確定性および変動可能性を有する要素は多数あり、以下のようなものが含まれます。

- 為替相場の変動
- 当社が営業活動を行っている市場内における法律、規制及び政府政策の変更
- タイムリーに新商品を開発し、市場に受け入れられるようにする当社の能力
- 当社が営業活動を行っている市場内における政治的な不安定さ

第2四半期 決算概要

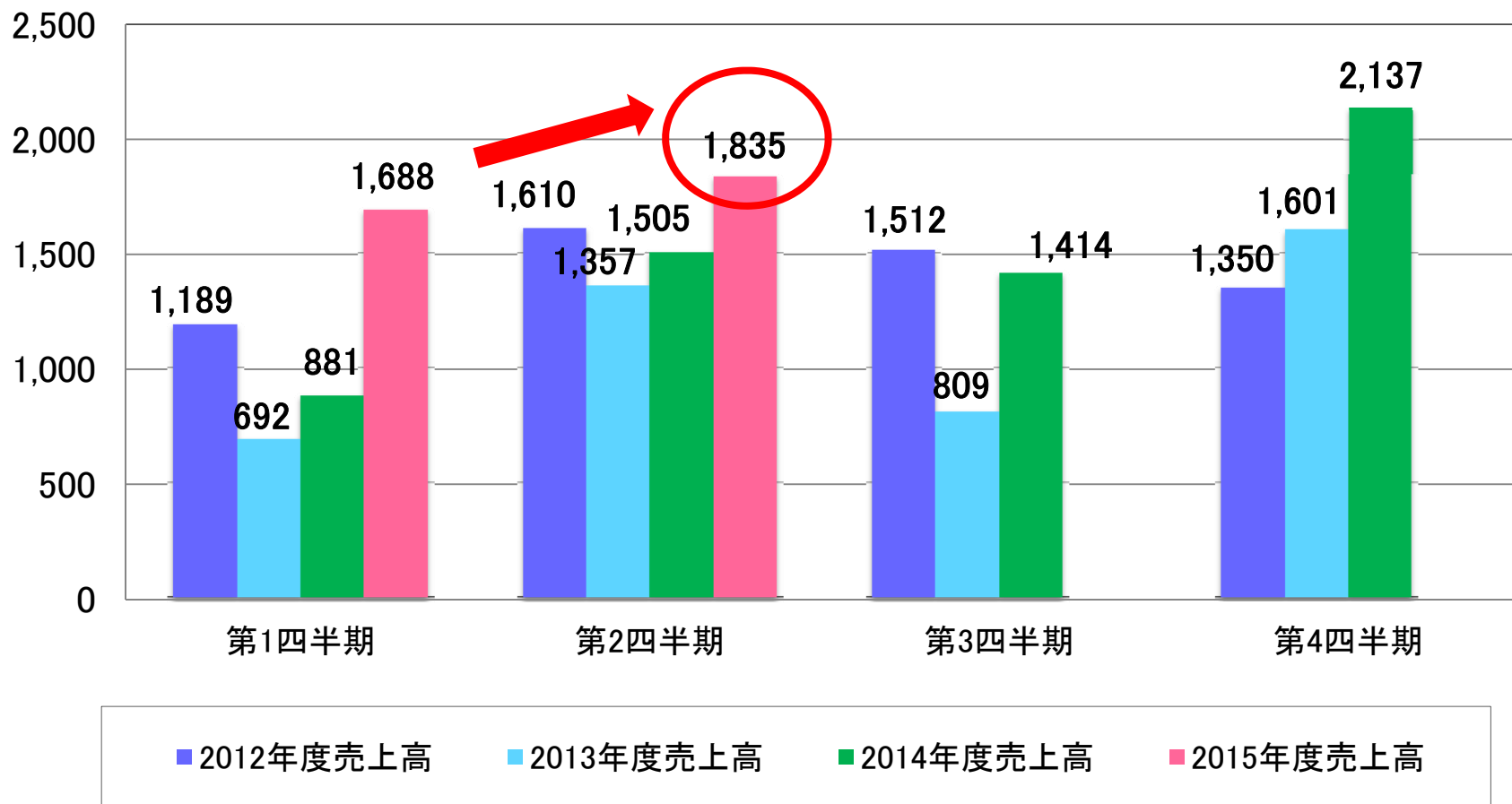
損益計算書(P/L)

好調な受注・売上により、
前年同期を大きく上回る収益を確保。

	2014年度 第2四半期累計	2015年度 第2四半期累計	
(百万円)	実績	実績	対前年比
売上高	2,386	3,523	47.6 %増
営業利益	161	500	210.7 %増
売上高比率	6.8%	14.2%	7.4 point増
経常利益	146	487	232.8 %増
売上高比率	6.1%	13.8%	7.7 point増
税引前利益	153	487	216.9 %増
当期純利益	88	310	250.2 %増

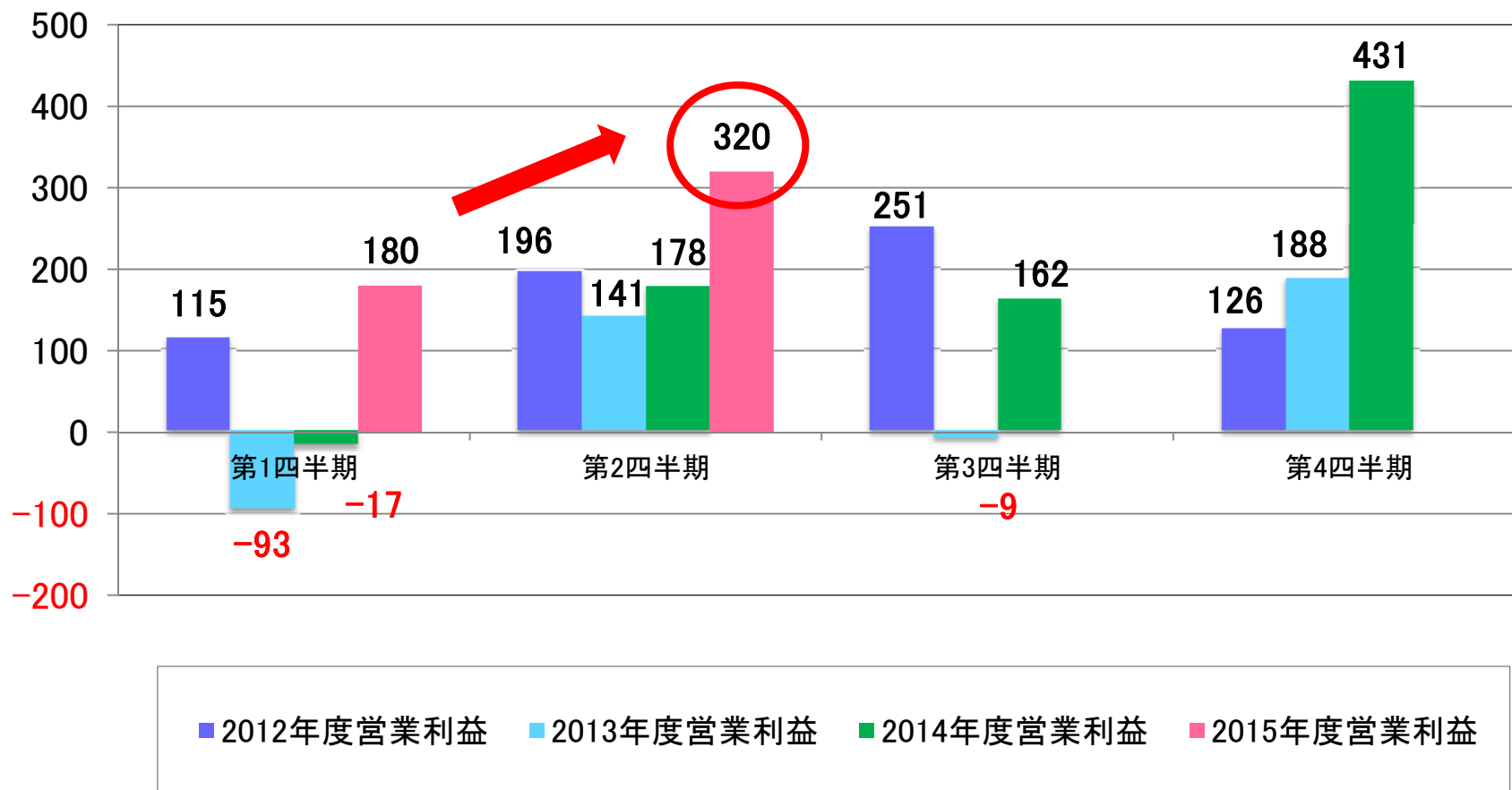
売上高(四半期別推移)

第1四半期に続き、増収トレンドを継続。



営業利益(四半期別推移)

売上増加に伴う生産性向上により、採算性も向上。



貸借対照表(B/S)

堅調な受注及び生産増加に伴い、棚卸資産が増加。

(百万円)	2014年度	2015年度		(百万円)	2014年度	2015年度	
	3月31日 実績	9月30日 実績	増減		3月31日 実績	9月30日 実績	増減
資産の部				負債純資産の部			
流動資産	3,377	3,391	14	流動負債	1,051	957	▲ 94
現金及び預金	435	278	▲ 157	買掛金	375	316	▲ 59
売掛金	1,611	1,456	▲ 155	短期借入金	0	0	0
棚卸資産	1,217	1,533	316	未払法人税等	303	182	▲ 121
繰延税金資産	97	96	▲ 1	製品保証引当金	62	69	7
その他流動資産	16	26	10	役員賞与引当金	19	32	13
固定資産	1,238	1,376	138	その他流動負債	291	356	65
建物	699	681	▲ 18	固定負債	689	660	▲ 29
土地	354	354	0	リース債務	652	625	▲ 27
その他有形固定資産	102	251	149	その他固定負債	36	34	▲ 2
無形固定資産	3	11	8	純資産	2,875	3,150	275
投資その他資産	78	78	0	株主資本	2,875	3,150	275
資産合計	4,616	4,768	152	負債純資産合計	4,616	4,768	152

売上原価率・販売管理費率・株主資本比率

生産量の増加及びロット生産により、
売上原価率、販売管理費率ともに改善。

	2013年度 通期	2014年度 第2四半期 (7月～9月)	2014年度 中間期 (4月～9月)	2014年度 通期	2015年度 第2四半期 (7月～9月)	2015年度 中間期 (4月～9月)
売上原価率 (下段は売上原価： 百万円)	70.4% 3,142	69.4% 1,044	70.2% 1,676	69.2% 4,108	68.5% 1,256	69.1% 2,435
販売管理費率 (下段は販売管理費： 百万円)	24.5% 1,092	18.8% 282	23.0% 549	18.1% 1,075	14.1% 258	16.7% 587
うち研究開発費 (百万円)	149	38	79	133	24	57
株主資本比率 (下段は株主資本： 百万円)	66.6% 2,450	66.2% 2,516		62.3% 2,875	66.1% 3,150	

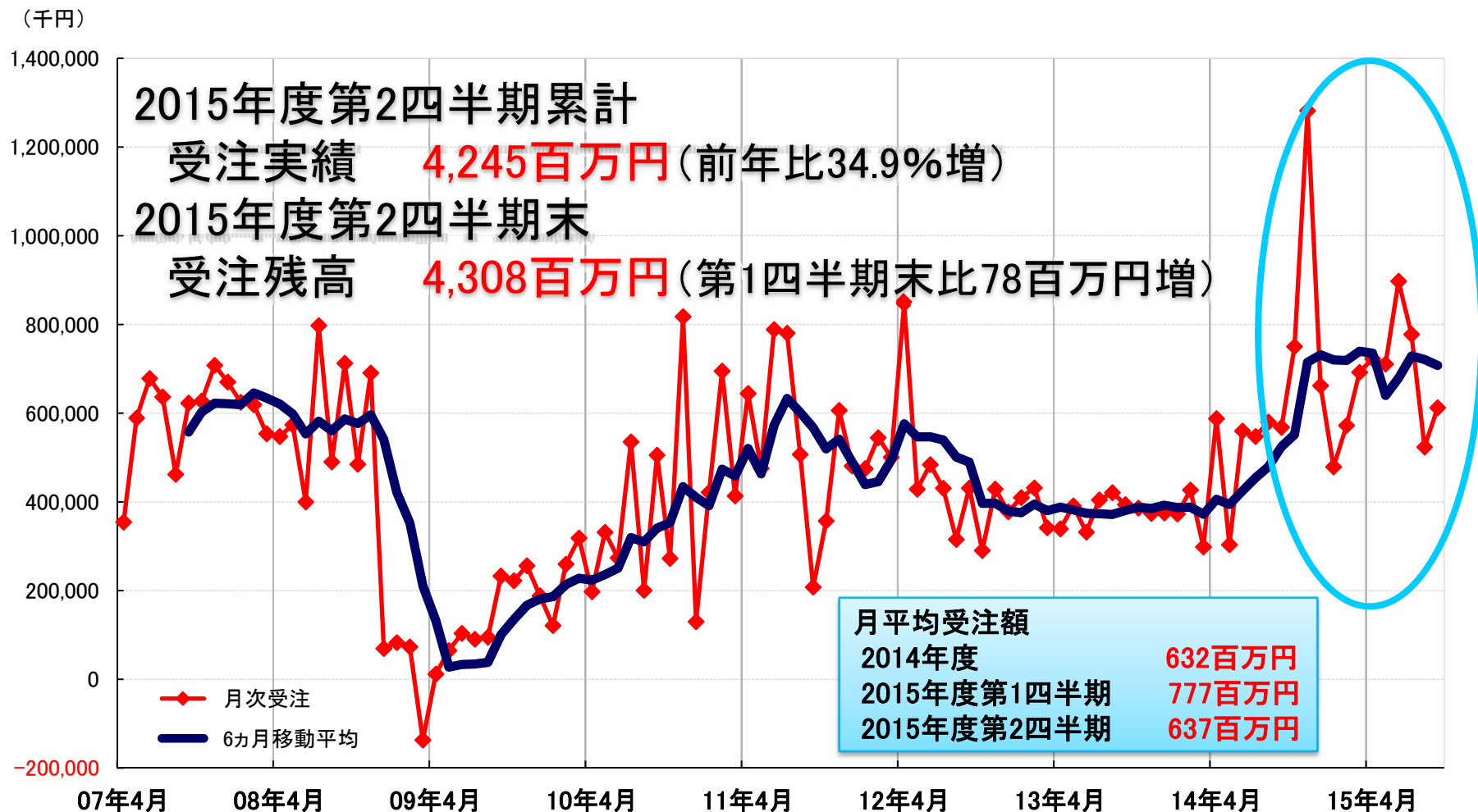
キャッシュフロー計算書(C/F)

生産能力を強化すべく、積極的な設備投資を実施。

(単位: 百万円)	2013年度 通期	2014年度 第2四半期 (累計)	2014年度 通期	2015年度 第2四半期 (累計)
営業活動によるCF	▲ 135	189	488	39
投資活動によるCF	▲ 34	▲ 10	▲ 18	▲ 131
財務活動によるCF	▲ 18	▲ 113	▲ 142	▲ 65
現金および同等物の増減額	▲ 188	65	327	▲ 156
現金および同等物の期首残高	296	107	107	435
現金および同等物の期末残高	107	172	435	278

受注高の推移

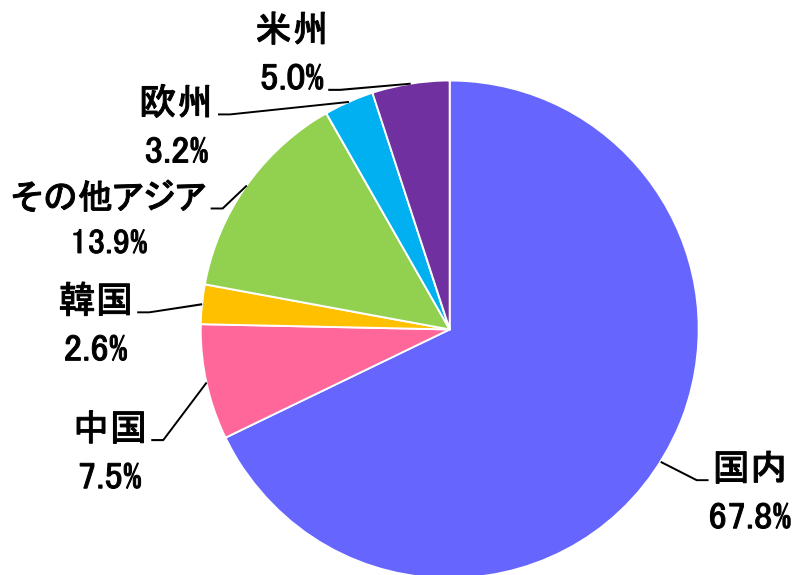
国内を中心に受注は好調。受注水準は高水準を維持。



海外納入比率(据付地・受注金額ベース)

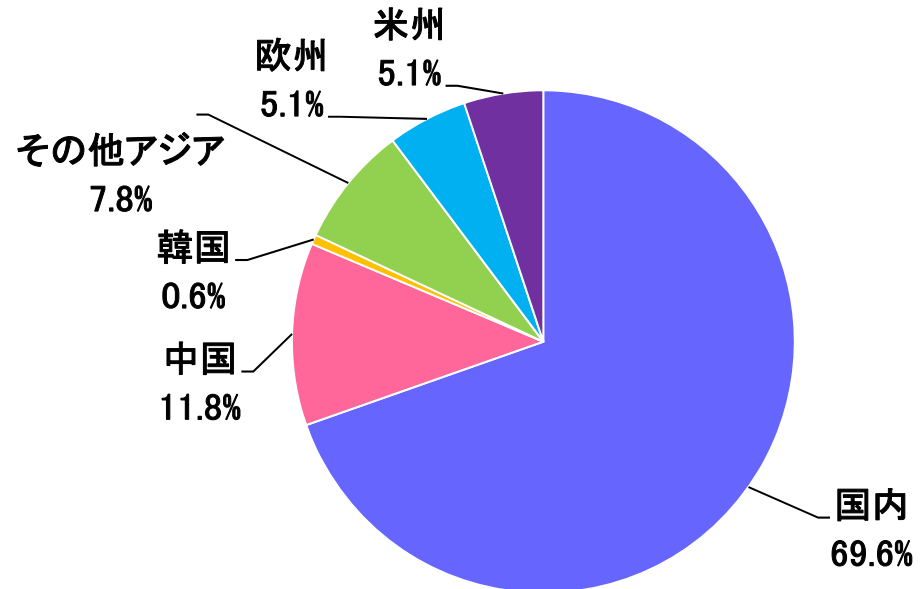
- ・国内の産業機械、工作機械、軸受関連企業の中国納入案件増加。
- ・国内の自動車関連企業からの米州向け、
軸受関連企業からのアジア向け大口受注あり。
- ・中国、韓国、台湾等のアジアや、米州、欧州等の幅広い地域から
新規受注を獲得。

2014年度 通期



海外32.2%

2015年度 第2四半期累計

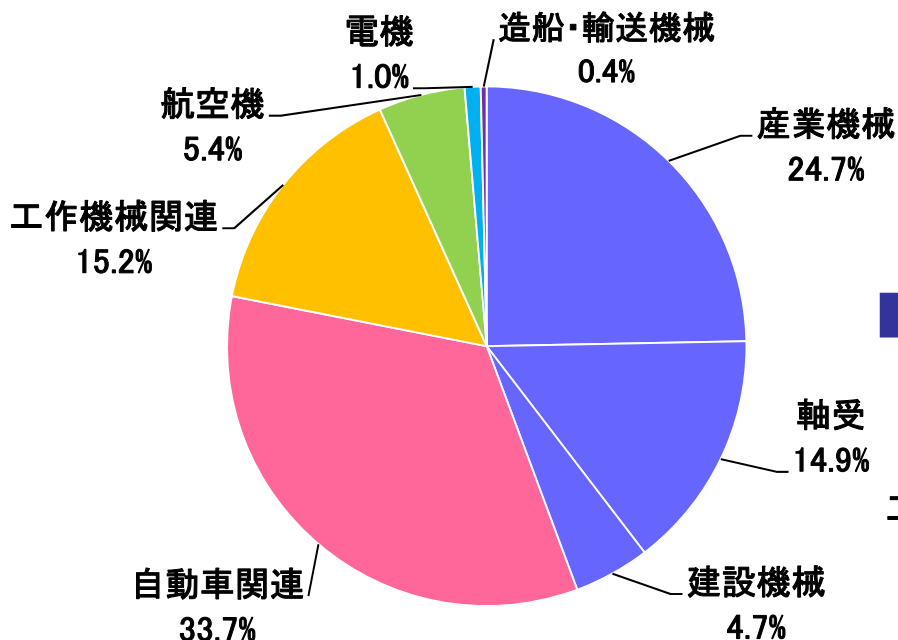


海外30.4%

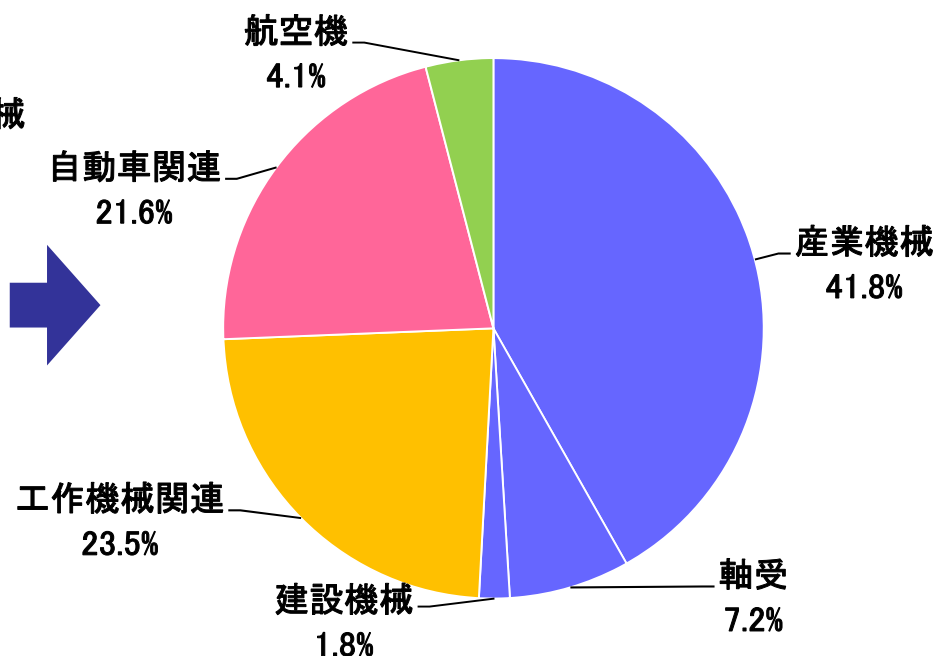
ユーザ業種別受注(受注金額ベース)

- ・国内の産業機械関連企業から多数の複数台受注を獲得。
- ・工作機械、自動車関連企業からの受注は引き続き好調。

2014年度 通期



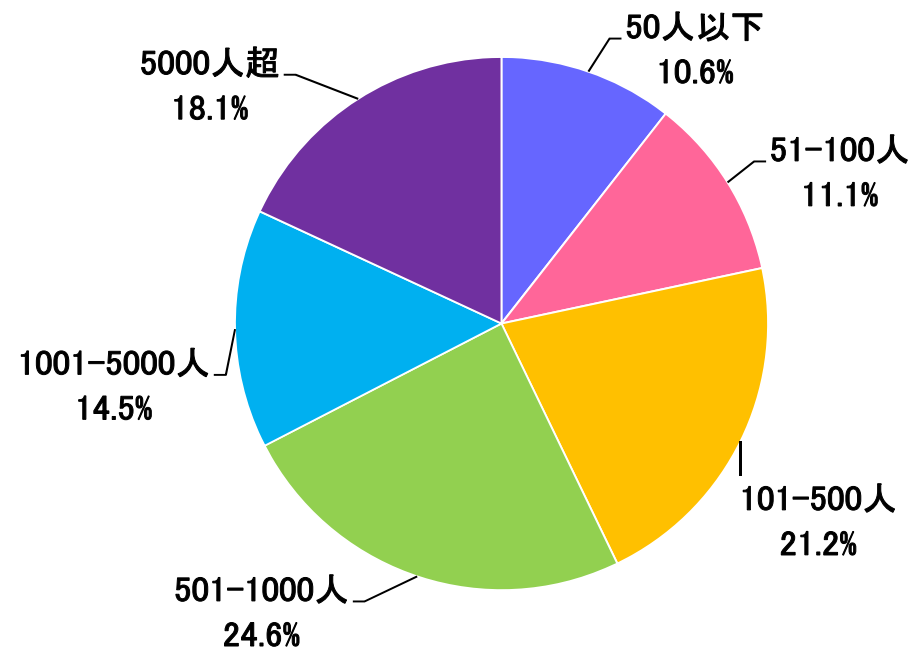
2015年度 第2四半期累計



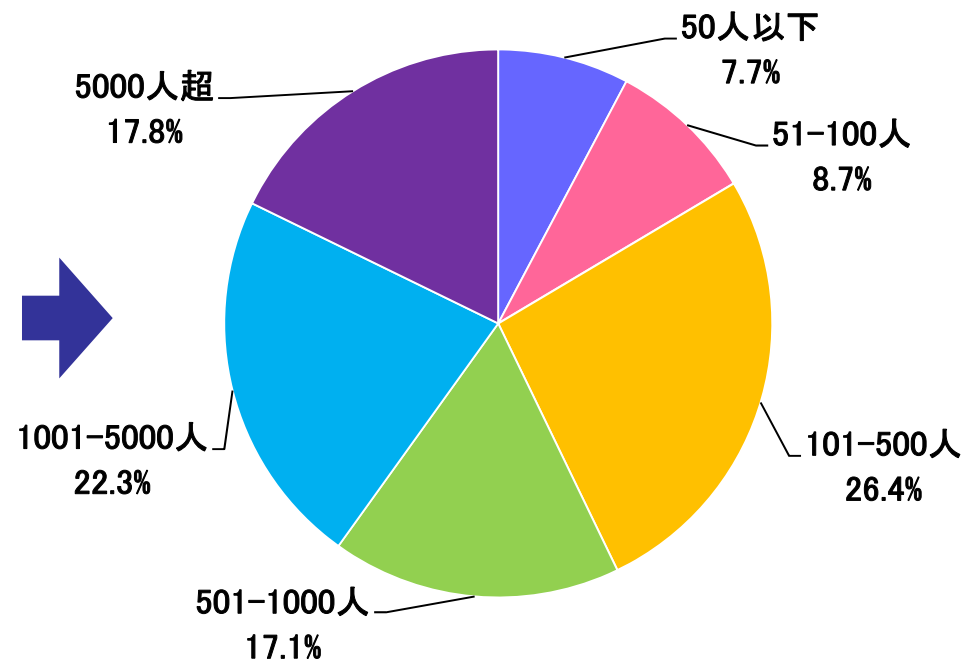
従業員規模別受注（受注金額ベース）

- ・幅広い規模の企業から受注を獲得。
- ・101人以上の中堅・大企業は、生産の効率化や海外投資に積極的で堅調。

2014年度 通期



2015年度 第2四半期累計

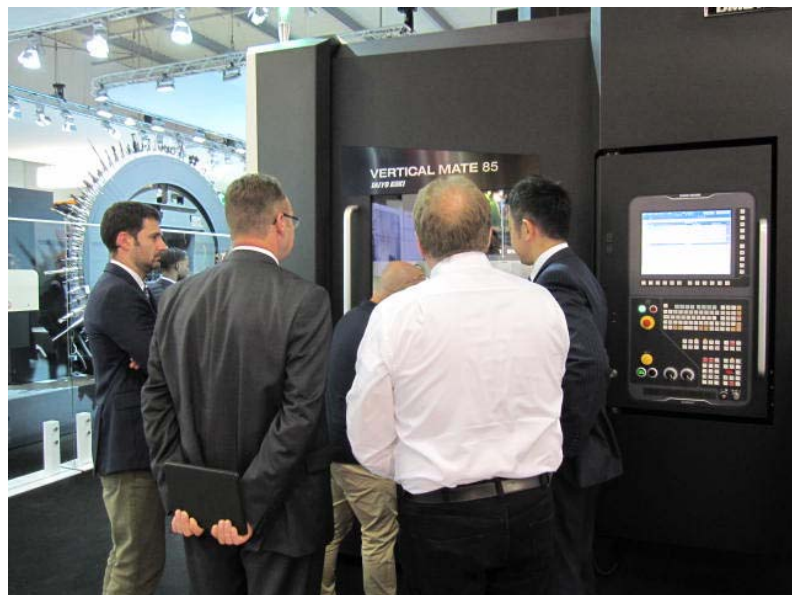


当社の取り組み

EMO MILANO 2015

2015年10月5日(月)～10月10日(土)

会場:ミラノ(イタリア)



- ・海外販売の拡大に向け、当社製品の技術力をアピールする絶好の場となった。
- ・会期中に展示機「Vertical Mate85」の受注を獲得。

メカトロテックジャパン2015

2015年10月21日(水)～10月24日(土)

会場:ポートメッセなごや(名古屋市)



- ・6月に発表した新製品「PGV-3」を含む2機種を出展。
- ・多くのお客様にご来場いただき、会期中に多数の受注を獲得。

2015年度の新規開発

2014度 開発機種

自動車部品の量産加工を
ターゲットとした
高生産型立形研削盤 PGV-2



NVG II シリーズの機能UPを
含めたモデルチェンジ
中・大型の立形複合研削盤 CVG-9



更なる高生産性を追求した
進化版を開発



PGV-3

2015年6月発表

加工ワークのサイズに合わせ、
ラインナップを拡充



CVG-6

2015年10月発表



超生産型CNC立形複合研削盤
PGV-3

2015年6月発売
本体価格 37,500千円＋税
販売目標 年間25台

1. 劇的な生産性の向上

「オートチャックチェンジシステム」により、
生産性を従来機比 **2.5倍** 向上。

・異なる工程の同時加工

研削盤内に、2つの加工ステーションを設け、
工程の異なる加工部位を同時に加工。

・非研削時間の短縮

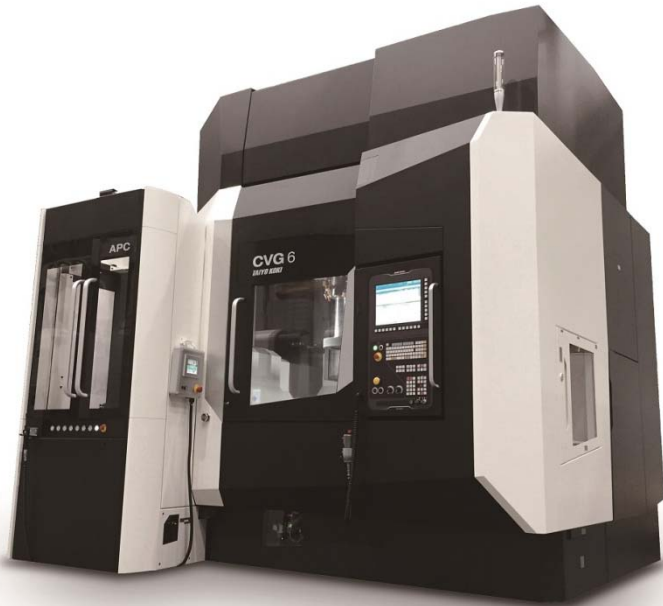
部品の加工中に、次に加工する部品の
交換・段取り作業を実施。

2. 省スペース化の実現

1台の研削盤で2台分の加工を実現し、
従来の**1/2以下の省スペース化**を実現。

3. ターゲットユーザ・ターゲット部品

自動車用のミッションギア等の
小型量産部品の加工向け。



CNC立形複合研削盤

CVG-6

2015年10月発売

本体価格 58,000千円＋税

販売目標 年間20台

1. CVGシリーズの**第2弾**

CVG-9よりも小さいワークサイズ向けに
ラインナップを拡充

2. 劇的な生産性の向上

「オートパレットチェンジシステム」の導入

- ・ 部品の加工中に、次に加工する部品の交換・
段取り作業を実施することで非研削時間を
大幅に短縮。
- ・ CVG-6 APC内に3つの加工部品が投入可能
な3面APC仕様（CVG-9は2面APC仕様）

2. 省スペース化の実現

機械の側面にAPCシステムを配置し、
機械前面に作業エリアを集約。

3. ターゲットユーザ

航空機や建設機械、産業機械、工作機械等

営業施策

グローバル営業の強化

米州

＜ターゲット業種＞ 航空機関連、建設機械関連、ベアリング

- ・世界最大手メーカ ⇒ 中堅部品メーカへの展開
- ・ユーザへのダイレクトな技術提案営業の推進
- ・サービスマンを駐在、メキシコを含む米州地域のサービス体制の確立

アジア(中国、韓国、台湾、タイ、インド)

＜ターゲット業種＞

建設機械関連、産業機械関連、
自動車関連

- ・設備投資需要の掘り起こしを狙う

欧州

＜ターゲット業種＞

航空機関連、産業機械関連、
自動車関連

- ・新規ユーザの開拓に注力

国内市場の掘り起こし

- ・自動車関連業界への新製品の拡販
- ・立形以外の横形、カム研、ネジ研削盤の拡販
- ・リピートユーザのサポート

生産能力の増強

需要に対応した生産体制を確立

本社工場の生産効率向上

- ・工場スペースの有効活用
- ・タイムリーな部品調達
- ・人材の確保
- ・サプライヤーとの関係強化



お取り扱い上のご注意

本資料は、当社をご理解いただくために作成されたもので、当社へ対する投資の勧誘を目的としておりません。

本資料を作成するに当たっては正確性を期すために慎重に行っておりますが、完全性を保証するものではありません。本資料中の情報によって生じた障害や損害については、当社は一切責任を負いません。

本資料中の情報は、本資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断したものであります。

お問合せ先 株式会社太陽工機 管理部

TEL : 0258-42-8808

URL : <http://www.taiyokoki.com>